

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 穂波学園

障がい者支援施設 笠置寮

平成 29 年度 笠置寮事業報告

〔事業内容〕

原則 18 歳以上の方が対象の施設です。一人ひとりの意思・人格・個性を尊重した個別支援、また、集団の中で社会参加に必要な生活習慣を学び、生産活動を通し協調性や責任感を身に付け、社会の一員として自立できることを目的として行いました。

〔定員〕 140 名

〔在籍者数〕

※単位（人）

	H29.4	H30.3
契約者数	138	137

〔職員数〕

※単位（人）

	定数	H29.4	H30.3
施設長	1	1	1
サービス管理責任者	3	3	3
支援員	47	52	53
看護師	1	2	5
管理栄養士	1	2	1
栄養士	1	1	1
調理員	1 以上	4	4
事務員	1 以上	3	3
合計	56	68	71

〔主な事業内容〕

1. 生活介護・施設入所支援
2. 利用者会議
3. 行事
4. 健康管理
- 5～9. 各委員会活動
10. 職員各種研修研究活動の実施
11. 短期入所事業
12. 地域貢献・交流事業

◎入所・退所の状況

※単位(人)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所先	障害者施設	病院										
	合計	138	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137

◎年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	138	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	1645
利用日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ人数	4118	4222	4109	4216	4234	4098	4242	4109	4156	4044	3801	4215	49564

◎年齢構成

※単位(人)

年齢(歳)	～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計	平均
男	2	9	12	20	18	15	9
女	5	6	6	3	9	12	10
合計	23	14	24	20	56	27	19

H30.3.31 現在

◎在籍年数

※単位(人)

在籍年数	1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計
男	1	1	1	7	9	17	85
女	1	5	0	5	1	15	52
計	2	6	1	12	10	32	137

H30.3.31 現在

[職員の資格状況]

- 社会福祉士 1名
- 介護福祉士 14名
- 精神保健福祉士 1名
- 教員免許 4名
- 看護師 5名
- 管理栄養士 1名
- 栄養士 1名

1. 生活介護

◎日中支援

<第一活動場>

(活動内容) 男性利用者 41名の活動場です。紙袋の作成・パッキン入れ(自動車部品)・折りたたみコンテナ金属抜加工の活動を行っています。工程の中で一人一人に合った活動内容の提供を行い積極的に取り組んで頂ける様に支援を行いました。

※単位(人)

年齢区分	18～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	2	4	2	8	8	17	41

<第二活動場>

(活動内容) 女性利用者 31名の活動場です。お茶やお菓子の紙箱折り・組立・お茶のセット加工を行っています。年齢や能力に応じた活動に参加して頂くことで意欲を持てるよう支援を行いました。

※単位(人)

年齢区分	18～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	3	6	3	4	2	13	31

<第三活動場>

(活動内容) 男性利用者 18名の活動場です。ビニール袋加工を中心とした活動を行っています。袋たたみ・箱詰め・製品運び等、個人に合った内容の活動を提供し、得意な事を伸ばしていただく環境作りをし、支援を行いました。

※単位(人)

年齢区分	18～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳～	合計
人数	0	3	4	4	2	5	18

<農業科（園内・彼岸原）>

（活動内容）男性利用者 15 名の活動場です。園内農業科においては、栗・シイタケ・花壇や植木等の整備を中心とした活動を行い、彼岸原農業科は自然薯・スイートコーン・白菜・大根・玉ねぎ等季節に応じた野菜の栽培・収穫等を行うことで自然との触れ合い、また収穫を楽しんで頂けるよう支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	18～20 歳	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	合計
園内	0	0	2	2	2	1	7
彼岸原	0	3	1	1	1	2	8

<生活・クリーニング・食販>

（活動内容）男性 2 名・女性 7 名の活動場です。生活・クリーニングに於いては、清掃の手順や洗濯物を畳み、生活寮に運ぶこと等、皆で協力し取り組めるように支援をしています。食販に於いては大きな声での挨拶や笑顔、衛生面を学び、地域の方々と食を通じ触れ合うことで社会性に繋がる支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	18～20 歳	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	合計
男	0	0	0	2	0	0	2
女	0	0	1	1	1	4	7
合計	0	0	1	3	1	4	9

<介護センター>

（活動内容）男性 11 名・女性 14 名の活動場です。機能訓練を中心に、ウォーキング・ラジオ体操・ストレッチ運動や玉さし・ペグさし・パズル・壁面製作・季節の飾り物製作で指先を使う活動を行いました。それと合わせ食事や歯磨き・排泄・入浴等日常生活の自立に向けた支援を行いました。

※単位（人）

年齢区分	18～20 歳	21～30 歳	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳～	合計
男	0	1	1	3	4	2	11
女	0	1	1	0	5	7	14
合計	0	2	2	3	9	9	25

◎施設入所支援

- 起床～足腰の弱い方が多い為、起き上がりや布団たたみ等、又、カーテンを開けるのも、介助を必要としました。
- 着替え～ほとんどの方がボタン掛けやベルトの装着等の介助を必要とし、最後に整容の確認を支援員が行いました。

- 歯磨き～歯磨きは事前に口を漱ぎ、ブラシの持ち方、ブラッシングの仕方などの支援をしますが出来ない方が多く、電動歯ブラシを用い、最後に磨き直しを行いました。
- 洗面～顔を洗った後に目やになどが残っていないか、顔の水気は残っていないか等、支援員が確認し、残っていれば介助を行い、洗えない方に対しては、濡れタオルでの顔拭きの支援を行いました。
- 食事～障害の特性に応じた食器の選別や、食べ溢し、箸を持たない方はスプーン使用や支援員が口まで運んで食べて頂く等、食事形態を配慮しました。又、義歯使用者、義歯使用困難な方等、咀嚼が不十分な為、嚥下障害を起こさない様にきざみ、粥食等に変えて提供しました。食育の観点から栄養バランスを考え、行事食等を取り入れ、季節感を味わって頂く様にしました。
- 排泄～排泄の面に於いてもすべて介助を要する様になって来ています。特に高齢の方に於いては日中での失敗が増えてきていますので、排泄誘導の間隔を個人に合わせたものにしてオムツや尿取パットを使用しています。
- 掃除～居室内外の清掃を毎日行いましたが、箒や雑巾を持たれたままの方が多くなってきています。
- 入浴～毎日入浴を行い、洗体・洗髪の支援を行いました。身体を隅々まで洗う事や髪をまんべんなく洗うことが出来ない方が多く、洗い直しの支援を行いました。

2. 利用者会議

毎月利用者会議を行い、司会・記録を利用者様に候補を募り、議題も利用者様に話し合ってもらいます。一人一人が自分の思うことを発表し、言葉で表現できない方もジェスチャーで意思表示をして、会議に参加をされています。皆さんが決める議題は余暇の楽しい過ごし方が多いようです。利用者会議の中で出た要望に出来るだけ応えられるようにしています。

3. 行事

※毎月（誕生会）

4月	開園記念式典・買い物外出
5月	輪投げ大会・ボーリング大会・園内シアター・買い物外出・お楽しみ外出
6月	買い物外出・プロ野球観戦
7月	映画外出・七夕会・買い物外出・誕生会（バイキング）
8月	花火会・映画外出・プロ野球観戦（ヤフオクドーム）・カラオケ大会 買い物外出・誕生会（バイキング）・飯塚納涼花火大会
9月	ときめきスポーツ大会（久留米）・買い物外出
10月	秋季体育大会・買い物外出

11月	家族旅行（霧島方面）・買い物外出
12月	マラソン記録会・餅つき・立喰うどん・学園コンパ（クリスマス会） 買い物外出・誕生会
1月	年賀式・成人祝賀会・（女性1名・男性1名）・カルタ大会・風船羽子板
2月	節分豆まき・チョコレート作り（バレンタインデー）・食事外出
3月	花見遠足・ひな祭り・クッキー作り（ホワイトデー）・誕生会（バイキング）

4. 健康管理

【目的】

小さな変化を見逃さない様に、日々の生活においてこまかな観察を十分に行い早期発見、早期治療に繋げる事が出来る様に努めました。

（疾病の予防・発見）

手洗い・うがい・手指消毒の支援、1日2回の体温測定等で体調チェックを行い、顔色、食欲の有無等の異常はないか、常に状態を把握しながら変化があればすぐに通院をして診察を受けています。うがいや手洗いの強化に加え、室内の温度や湿度の管理、居室、活動場内の消毒、又通院時にはマスクを着用する等を徹底した結果、風邪等で41名の方が通院されましたが長引いたり蔓延する事はありませんでした。

（清潔）

歯磨き・洗面・洗体・洗髪・手洗い・排泄後の後始末・髭剃り全てにおいて、日々支援は必要です。高齢化の影響か今まで自分で出来ていた事が出来なくなっている方も少しずつ目立つ様になっています。

（運動・食事）

食事に関しては、栄養士の献立に基づいてバランスの良い食事を摂って頂いています。疾病のある方は医師の食事箋があり、その指示に沿っての支援を行っています。誤嚥を防ぐために「よく噛んでゆっくり食べましょう」という声掛けを強化しています。

運動に関しては、体力維持の為に個人にあった運動や、楽しく取り組める様にリズムに合わせてのエアロビクス等を取り入れています。転倒防止の為にストレッチもメニューに入れスポーツタイム時に行っています。

（身体測定）

体重、血圧測定を毎月1回全員行い、体重の増減や、血圧の変化がないか、確認を行っています。冬季休暇中に帰省されていた方で、著しい体重の増加がありました。

(健康診断)

胸部レントゲン・心電図・血圧・視力・聴力・内科・歯科・眼科・耳鼻科検診を受けました。その結果で再検査や治療の必要な方は、速やかに各専門機関の検査を受けました。その結果今年度も大きな病気に繋がる様な方はおられませんでした。

(予防接種)

インフルエンザ予防接種を 11 月 16 日に全員受けました。昨年と同様にインフルエンザに罹られた方はおられませんでした。

(通院状況)

利用者様の実際の状態と訴えが異なる事が多くありました。例を挙げると、風邪症状で通院した利用者様が翌日に、熱も平熱で、食欲もあり本人様自身も「大丈夫」と言われていましたが、肩で息をする様な呼吸状態の異常を支援員が気づき、すぐに再診をし「肺炎」を早期に発見出来たケースもありました。また 70 歳男性の利用者様は、いつもと違う行動（衣類を間違えて着る、食器を正しい位置に置けない、靴が履けない、右手の力が弱く物が持ちづらい）を支援員が見つかり、1 か月程前に転倒して頭部を打撲された事があった為に、すぐに脳外科を再診し、硬膜下血腫が見つかり、翌日入院され血腫を取り除く手術を受けられました。頭部を打撲した時点でも脳外科を受診して MRI 検査を受けて異常なかったのですが、徐々に出血しており、症状的にも、良く観察をしていないと見逃していたかもしれない程度だったので、早くに発見出来て良かったですねと医師からも言われました。痛みの訴えがあっても通院をしても異常がないというケースが多いのですが、今回の様なケースもある為、全身状態や表情など細やかな観察が重要である事を感じました。

H29 年度 科別通院者

(診療科)	(実人数)	(延べ人数)
内科	120 (内定期受診者 100 名)	841
外科	52	190
歯科	70	398
皮膚科	83	217
精神科	53	554
眼科	40	124
耳鼻科	60	81
肛門科	3	39
整形外科	34	104
泌尿器科	16	143
婦人科	2	7

5. 献立委員会

4月に嗜好調査を行い好きな食べ物苦手な食べ物の調査をすると共に毎月希望メニューの調査も行い翌月の献立に反映しています。

毎月行われる誕生日会では飲み物の希望を聞いて、一人一人の好みに応じた物を準備しました。今年度は7月に「夏まつりの露店」をテーマに、たこ焼き・ホットドッグ・唐揚げ・チョコバナナ・かき氷等のメニューで開催、3月は「学園春のパン祭り」をテーマにセルフサンド・フライドポテト・おにぎり・フレンチトースト・クレープ等のメニューでバイキングでの楽しい誕生日会を行いました。「おいしい」「パン好きやきうれしい」等の声も聞かれ笑顔で食事を楽しまれていました。

6. 穂波学園第三者委員会

12月16日に第三者委員会が開催されました。同日マラソン記録会・餅つき・立ち食いうどんが開催され、一緒に参加していただきました。「皆さんの笑顔を見ていると学園での生活が楽しいものであることを実感しました」と言われていました。

7. 苦情解決委員会

体制は第三者委員会と各寮リーダーです。苦情 要望件数は1件も発生しておりませんでした。

8. 虐待防止委員会

虐待防止委員会を年に3回(4月、8月、12月)行いました。協議事項が別に発生した場合にはその都度会議を開く様にしていますが、今年度においては有りませんでした。

4月には利用者様に対しての虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるための「早期虐待発見チェックリスト」の記入を行い、4月に当法人施設長による新人職員を対象とした「虐待防止研修会」、7月15日には第三者委員である紫牟田氏より虐待に関する法人内研修を行って頂き学習すると共に、再確認をしています。

3月は職員を対象に無記名にて「虐待防止職員セルフチェックリスト」の記入を行いました。「緊急時には大きな声を出してしまった」1名、「つい〇〇さんではなくあだ名で呼んでしまったことがある」2名の記入が有りました。内容の再確認を行い、意識を高めると共に今後は上記のような項目が無くなる様に会議にて話し合いを行っています。

9. 安全衛生委員会

毎月開催、安全衛生管理年間計画の作成、実施、評価及び改善を行い精神的健康の保持増進対策、避難訓練、自然災害及び防犯の対応と対策、快適な生活環境、職場環境の形成を促進する為の会議を行いました。

環境美化整備コンクールを今年は4月21日に行いました。利用者様と支援員が共に生活の場を心地よく過ごせるように皆で掃除等を行い、活動場や生活棟の巡回を行い、良いところ悪いところ等の評価を行い、悪いところの改善を行っています。

安全対策としては火災、地震、水害、土砂災害、防犯等を想定した避難訓練を実施しました。

今年は平成29年9月27日に防犯の意識を高める為に不審人物の侵入想定訓練を行いました。9月4日～7日にかけて飯塚消防署の方に来ていただき、全支援員が救命講習を受け、心臓マッサージの重要性、AEDの使用方法等、基本的な救命措置を学びました。

(年間避難訓練)

H29. 4.27	笠置寮浴室出火想定・消火訓練
5.26	穂波1寮夜勤室出火想定
6.22	笠置3寮玄関出火想定
7.25	まどか園教材室出火想定
8.23	第1作業場トイレ附近出火想定
9.14	土砂災害対応訓練、その後給食センター厨房より出火想定
9.27	不審者侵入想定
10.25	書庫出火想定
11.27	穂波2寮夜勤室出火想定
12.27	まどか園訓練室出火想定
H30. 1. 8	自立寮ホール付近出火想定
2.22	穂波1寮夜勤室出火想定
3.24	土砂災害避難訓練(11月1日改正 危険区域及び避難経路の確認)
3.26	給食センター厨房附近出火想定

10. クラブ活動

- ☆バレーボールクラブ
- ☆陸上クラブ
- ☆グラウンドゴルフクラブ
- ☆太鼓クラブ
- ☆エアロビクス

現在 5 つのクラブ活動を行っています。バレーボールクラブ・陸上クラブ・グラウンドゴルフに於いては、福岡県や九州の大会出場はもとより、全国大会を目標に日々の練習に取り組んでいます。いろいろなクラブに参加することで社会適応能力、マナー、人間関係等、スポーツを通して学んで頂く事を目的としています。

太鼓クラブは地域イベントに出向いて演奏を行っています。日々の練習の中で仲間意識を持ち、お互いに助け合いながら向上しあい地域の方々との交流を大切にしていける事を目的としています。

エアロビクスに於いては毎週インストラクターに来ていただき、体育館に於いて皆さん音楽に合わせて踊られています。又、高齢の方は少し休憩を交えながら、みなさん楽しんで参加しておられました。

(大会・結果)

5月	福岡県知的障がい者福祉協会第4回グラウンドゴルフ大会 優勝 笠置寮 A チーム・準優勝 笠置寮 B チーム
6月	第17回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技九州ブロック地区予選会 優勝 福岡県代表チーム穂波学園
8月	日本 ID 陸上競技選手権大会 女子 4×400R 銀メダル
11月	第35回九州地区知的障害者施設親善球技大会グラウンドゴルフ大会 優勝 福岡県代表笠置寮 A チーム・準優勝 福岡県代表笠置寮 B チーム
	第17回全国障害者スポーツ大会 2017 愛顔つなぐえひめ大会 知的女子バレーボール競技出場 九州ブロック代表福岡県穂波学園連合 知的の部陸上競技 400M 走 銀メダル
3月	第20回下関市知的障害者親善バレーボール大会出場

11. 平成 29 年度職員研修

(全国大会関係)

- ◇ 全国知的障害福祉関係施設長会
- ◇ 全国知的障害福祉関係職員研修大会
- ◇ 障害者支援施設部会福岡県合同意見交換会

(九州大会関係)

- ◇ 九州社会福祉経営会セミナー
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設職員研修大会
- ◇ 九州地区知的障害者関係施設長研修大会
- ◇ 九州地区施設研究会
- ◇ 平成 29 年度九州地区知的障害者福祉協会障害者支援施設部会研究会
- ◇ 九州地区知的障害者日中活動支援部会研修会

(福岡県県内研修)

- ◇ ふくおかライフレスキュー事業サポーター養成研究
- ◇ ふくおかライフレスキュー事業フォローアップ研修
- ◇ 認定社会福祉士オリエンテーション
- ◇ 社会福祉施設役職員研修会
- ◇ 社会福祉法人経営セミナー
- ◇ 平成 29 年度菊愛会フォーラム「これからの障がい者福祉施策とは」
- ◇ 平成 29 年度食中毒予防講習会
- ◇ 福岡県相談支援従事者初任者研修
- ◇ 食中毒予防講習会
- ◇ 筑豊地区施設長・職員研修会
- ◇ 調理師研修会
- ◇ 福岡県知的障害者福祉協会新任職員研修会
- ◇ 平成 29 年度九州社会福祉経営会スキルアップ研修
- ◇ 平成 29 年度新任職員研修
- ◇ 介護支援専門員更新研修
- ◇ サービス管理・児童発達支援管理責任者研修
- ◇ 福祉サービス苦情解決従事者研修
- ◇ 意思決定支援研修
- ◇ 2017 年福岡県サービス管理責任者研修
- ◇ 感染症予防研修
- ◇ 自衛消防隊教育
- ◇ 精神保健福祉士冬季講座
- ◇ 社会福祉法人改革に伴う会計・財務セミナー
- ◇ 触法障がい者支援を考える

- ◇ 平成 29 年度管内栄養士（新任者）研修
- ◇ 社会福祉サービス事業所 直接処遇職員研修
- ◇ 福岡県知的障がい者福祉協会研修会

（法人施設内研修）

- ◇ 虐待防止に関する勉強会
- ◇ キャリアパス対応生涯研修（フォローアップ研修）
- ◇ 新任職員・考課者研修（スキルアップ研修）
- ◇ 法人内階層別キャリアパス研修
- ◇ 虐待防止研修

11. 短期入所

今年度の短期入所の受け入れはありませんでした。

12. 地域貢献・交流事業

（地域貢献事業）

- ※ 家庭裁判所から非行に陥った少年に対して社会福祉施設での社会奉仕活動をすることで、少年自身に思いやる心を育み、人間に対する愛情や関心を深めさせ社会の一員としての自覚を持たせる趣旨として、保護観察体験実習の受け入れ体制をとっています。今年度においては要請はありませんでした。
- ※ ハローワーク主催の嘉飯山地区中学校特別支援学級就職準備講習会（施設体験含む）の受け入れを行い、今年は 10 月 25 日に 42 名の生徒さんと、保護者・教諭 22 名、ハローワークの職員 2 名で計 66 名の方が日中活動に参加されました。女性はお茶の箱折りや組み立て、男性は自動車部品の加工で一日有意義に過ごして頂きました。
- ※ 庄司自治会の事業として行われている高齢者に届けるお弁当（寿弁当）の材料に当法人で収穫した野菜を 2 ヶ月に 1 回、無償で提供しました。
- ※ 穂波学園周囲の県道とバス停の清掃を支援員で月に一度行いました。
- ※ 地域の盆踊りの際、各家庭を回り踊る方々を、当園支援員がマイクロバスを運転し送迎を行っています。
- ※ 敬老の日やクリスマスには近隣の老人宅へプレゼントを持参し、話をすると共に安否確認を行っています。

（地域交流事業）

- ※ 家族や地域の方との交流等の機会を確保する為に、花見遠足・学園祭・餅つきの行事を行いました。



日本 ID 陸上競技選手権大会
女子 4×400R 銀メダル

開園記念式典
利用者表彰



花火会



薫風太鼓



救命講習



県道掃除



体育大会



成人祝賀会



グラウンドゴルフクラブ



バレーボールクラブ



誕生会 (バイキング)